

日時・場所	令和3年10月4日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、川口副市長、西村教育長、田中議会事務局長、赤坂政策調整部長、馬野政策調整部政策監、市木病院事務部長、川端総務部長、長尾市民部長、吉田健康福祉部長、田中健康福祉部政策監、三上都市建設部長、武内環境経済部長、吉川教育部長、事務局

1. 開会

<市長挨拶>

- 本日は2週間ぶりの部長会議開催となる。その間に気になったことが数点あったので報告する。
 - 1点目、市が行うイベントや企業からの物品贈呈式など、記事になるかわからないが、記者への情報提供を積極的に行い市民にアピールしていくべきである。
 - 2点目、市の広報は現在単色だが、せめて2色刷りにして、見やすく、わかりやすくしてはどうか。また、ホームページもわかりにくい。易しい操作で、欲しい情報にたどり着けるように考えてほしい。
- 10月1日に緊急事態宣言が解除された。気が緩んで再度まん延しないように、これまで通り気を引き締めてほしい。

2. 議題

【報告事項】

①一般会計予算における新しい予算要求方式について

各部（局）での予算見積りの段階から、限られた財源であることを意識し、自らの権限と責任において、新たな行政課題を含め、事務事業の必要性や優先度を精査、厳選した予算要求を行っていただくことを目的とし、予算編成手法に枠配分方式を導入する。

→これまでは担当課で伸び率等出して計算していた、扶助費等の考え方は？

→右肩上がりの状況は把握しているが、枠内に収めることを原則とし、増加がやむを得ない場合は理由書を提出いただいて考慮する。

→経常経費、臨時的経費の概念、線引きは予算説明会で示されるのか。

→予算の細節で線引きする。その一覧は予算説明会で示す。

→行財政改革の観点で「枠配分」ということか？方針のようなものはないのか。

→方針は予算説明会で提示する「予算編成方針」で明らかにする。

→経常経費が9割を超えている中で「枠配分」だけで財政調整基金に頼らずやっつけていけるのか。

→不要額を出さず、実態に近い予算額にすることで、行財政改革を意識した予算編成に取り組んでもらうことが目的である。

②野洲市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

健康保険法施行令の一部改正に伴い、野洲市国民健康保険条例を一部改正する。

③野洲市新型コロナワクチン集団接種（2回接種）の今後の実施予定について

新型コロナワクチン接種については希望するすべての市民へ2回の接種を実施しているが、すでに集団接種の予約受付枠が埋まらない状況が続いており、集団接種の実施回数を減らし、12月をもっていったん終了することとしたので報告する。3回目接種については、国の方針が決定次

第、接種の実施体制等について医師会や関係機関と調整する。

④学校給食センター構内における車両接触事故について

令和3年9月10日（金）に野洲市学校給食センター構内で車両接触事故が発生したため、その概要を報告する。

3. その他伝達事項

（市民部）

- 先月末で緊急事態宣言が解除された。これに伴うリバウンドを想定する必要がある、引続き感染予防に協力を願う。
- 10月1日から野洲市のふるさと納税を開始した。すでに数件申込みがある。

（副市長）

- 冒頭市長からも言われたが、各職場で取組んでいることについて、情報発信がうまくできていないと感じることがある。情報発信はアイデアやテクニックが必要であり、また広報戦略が必要である。全職員が広報の意識を持ち、前向きな話題や今やっていることでも評価すべき点が多いのだから、それをアピールしてほしい。
- 先週から庁内のポータルサイト（デスクネッツ）が新しくなった。様々なツールのうち、アンケート機能や、その他色々な機能がある。これを使って、職員、特に若手職員からの声を吸い上げ、何か施策に活かしていけないか、と考えている。
- いわゆるDX（デジタル・トランスフォーメーション）について、すでに各分野でICTの活用など、あるいは押印の廃止なども進めてもらっているが、さらに今後を見据えて使えるものは使って効率的に、ミスなく、公共サービスの水準を落とさずに対応できる仕組みを戦略的に考えていかないといけない。
- 以上のような観点からも、次年度以降の予算や体制をどうすべきか考えていってほしい。

4. 次回部長会議の予定

10月11日（月）9時00分～ 庁議室

5. 閉会